特集 V 東京駅丸の内駅舎の復原・まちづくり

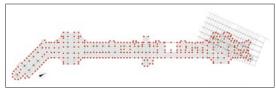
1914年(大正3)年に創建された東京駅は、2012年10月東京駅が持つ歴史の重みを次の世代に引き継ぐために、伝統と先進性をあわせ持つ、新たな駅へと生まれ変わりました。

駅舎復原時に採用した耐震技術について

東京駅丸の内駅舎の復原工事に際しては、復原後も駅舎の恒久的な保存・活用を行うために耐震性能の向上が重要であることから、国内最大級の「免震レトロフィット工法(*1)」を実施しました。

本工事では、地上の既存駅舎の荷重を仮支柱で受け替え、創建以来駅舎を支え続けてきた11,000本の松杭を撤去することで生まれた空間を利用し、地下部を新設しました。地上部と増築した地下部の間に免震層を設け、免震装置としてアイソレーター(*2)約350台、オイルダンパー(*3)約160台を設置し、地震時の駅舎の変形量を抑制しています。「免震レトロフィット工法」を採用したことで、耐震性能が飛躍的に向上した新丸の内駅舎として駅舎復原を実現しています。

- ※1 免農レトロフィット 既存の建物の基礎や中間階に免農装置を設置し、外観や内装及び設備などを損なうことなく建物を免農建物に生まれ変わらせる工法です。
- ※2 アイソレーター 通常時には建物の重量を支え、地震時には周期の短い揺れを周期の長い揺れに変える機能を持つ装置です。
- ※3 オイルダンパー 粘性材料(オイル)の粘性抵抗により、揺れ幅を抑えることができる地震エネルギー吸収装置です。



アイソレータとオイルダンパー配置図





免震装置の設置状況

東京ステーションホテルについて

平成24年10月3日に装いも新たに開業した東京ステーションホテルは内装を、駅舎外観との調和を 意識した「ヨーロピアン・クラシックスタイル」の居心地のよいインテリアデザインとしております。客室 数はバラエティに富んだ6タイプの全150室で、レストラン10箇所、宴会場3箇所、フィットネス&スパを 備えており、開業後は多くのお客さまにご利用いただいております。

およそ100年の歴史を持つ「国の重要文化財」である駅舎が積み重ねてきた歴史や伝統を大切に し、使い続ける文化財としての価値を伝え続けることを使命に、多くのお客さまの記憶に残るホテルを めざしていきます。



東京駅外観



東京ステーションホテル客室

JR EAST Travel Service Centerについて

観光案内所、旅行カウンター、手荷物カウンター、外貨両替所・ATMの四つのサービスを一体的に 提供する訪日旅行のお客さま向けの施設です。無料のパソコンや無料公衆無線LANも整備され、日 本のご旅行の拠点としてご利用いただけます。

VOICE

─JR EAST Travel Service Center─ 見知らぬ国に来たお客さまの不安を解消する「おもてなし」を

昨年10月、東京駅丸の内駅舎復原工事の完成と同時に開業した「JR EAST Travel Service Center」は、JR EAST PASSなどのレールパスの引換や乗車券類の発売を行う旅行カウンターと観光案内所が一緒になっています。駅構内に位置するため、列車の発車時間や乗り換え時間を考慮するなど他の観光案内所と異なるところがあります。東京駅は広く、言葉の通じない海外のお客さまにとって、列車の乗り場や乗り換えは不安の一つです。その不安を少しでも和らげるためにも、余裕をもったスケジュールの提案と丁寧な案内に努めています。

開業以来、たくさんの訪日旅行のお客さまをお迎えしましたが、私自身いちばん驚いているのは、滞在中に何度もこちらへ足を運んでくださる「リピーター」がいることです。例えば、観光をした後、東京に戻って来られて「あなたの教えてくれた観光地やホテルは良かった」と報告してくださるお客さま、以前利用して良かったので友人を連れてきたというお客さまや、友人にここを薦められたというお客さまなどがいらっしゃいます。中には、新幹線が遅れたため乗り換えに間に合わず、目的地に着けなかったとお叱りのためにお越しいただいたこともありましたが、お客さまが帰国される時に、社員がホームまでお見送りしたところ感激され、最後はお褒めの言葉をいただいたこともありました。

ここでは、一人ひとりのお客さまとお会いするのはわずかな時間でしかありません。私たちはお客さまとの応対の一瞬一瞬を大切にし、お客さまの不安を少しでも解消してあげられるよう、和やかな雰囲気でおもてなしをするよう心がけています。



株式会社びゅうトラベルサービス 訪日旅行部 東京駅 JR EAST Travel Service Center 所長

藤原 末美